

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	プロパティマネジメント研究会	主 査 名：巽 和夫 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：建築経済委員会 主 査 名：古阪 秀三
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築におけるプロパティマネジメント(PM)を総合的に検討することから、ストック時代に対応した建築学のあり方、学問・教育の再編の方向を示唆することを目的としている。これは、ストック時代に対応するための建築学と、建築ストックを法律・経済・工学から総合化してきた不動産学との新たなシステムの統合を目指す。 ・2007 年度 建築学会大会でのPDの実施など、建築学におけるPMの課題整理	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 主査：巽 和夫 (京都大学工学部建築学科名誉教授・巽和夫建築研究所) 幹事：秋山哲一 (東洋大学工学部建築学科) 幹事：齊藤広子 (明海大学不動産学部不動産学科) 委員：田村誠邦 (アークブレイン・不動産鑑定士) 委員：安藤正雄 (千葉大学工学部デザイン工学科) 委員：中城康彦 (明海大学不動産学部不動産学科・不動産鑑定士) 委員：三橋博巳 (日本大学大学院理工学研究科不動産科学専攻) 委員：浦江真人 (東洋大学工学部建築学科) 委員：藤本秀一 (建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2007 年度予算	0 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
大会研究集会	1. 建築ストック時代のプロパティマネジメント 参加者数 130 名 (資料名) 建築ストック時代のプロパティマネジメント
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	本研究会は、WGとして建築企画小委員会のもとに設置し、2年間活動を行っていた。その成果を踏まえて、上記の目的を達するために本格的に研究会を立ち上げた。本分野の研究の必要性、重要性、緊急性から、研究会として本格的に活動を行い、その成果を大会研究集会で発表をした。大会資料には、主題解説以外に、寄稿論文等約 30 論文が寄稿された。大会研究集会には、初日午前にもかかわらず、建築経済分野だけではなく、建築計画・都市計画をはじめとする、多くの方々に参加いただき、活発な議論ができた。
委員会活動の問題点・課題	上記の課題に対して、どのように具体的にアプローチするのか。テーマ設定を行い、委員を公募し、建築をプロパティとしてマネジメントする手法とそのための専門家職能・教育の確立を目指す。